

第3学年 社会科学習指導案

授業者

【考え・基礎知識】

・現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解し、企業の役割と責任、職業の意義について説明できる。



【つながり】

・企業の役割と責任と職業の意義について対立と合意、効率と公正、その他の社会的な見方・考え方を働かせながら、多面的・多角的に考察できる。



【応用・ひろがり】

・対立と合意、効率と公正やその他の社会的な見方・考え方を働かせながら、非正規労働者の問題について、多面的・多角的に考察し、より良い社会を目指す解決策を構想し提案できる。

1 日 時 平成 29 年 12 月 13 日 (水) 3 校時

2 学年・学級

3 単元名 第3編 私たちの生活と経済 第2節 生産の場としての企業

4 単元設定の理由

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領（平成 20 年 9 月）公民的分野の内容（2）私たちと経済の「ア 市場の働きと経済」に基づき設定している。単元のねらいは、現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解させるとともに、社会における企業の役割と責任について考えさせる中で、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の本質と関連付けて考えさせるものである。

中学校学習指導要領（平成 29 年）では、「対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性に着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して」という文言が加わり、社会的な見方・考え方である、対立と合意、効率と公正を働かせながら、個人や企業の経済活動における役割と責任、職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現することとされている。その際、起業、金融の働き、仕事と生活の調和の観点から労働保護立法にも触れることが述べられている。

そこで本単元では、資本主義経済における企業の在り方と職業について、「現代社会の見方や考え方」の単元で習得した、対立と合意、効率と公正の社会的な見方・考え方を働かせて多面的・多角的に思考させることにより、個人や企業の経済活動について深く理解させたい。また、この学習を通して、自己の勤労観の変容を図り、より良い社会の構築へ向けた主権者としての意識をもたせたい。

(2) 生徒観

学習には真面目に取り組む、班活動も協力して学び合うことができる。しかし、公民的分野を他分野と比較して難しいと思っている生徒が多い。その理由として、複数の資料の何に着目し、考えをまとめればよいのか分からなかったり、定期テスト等の結果から、社会的現象に関わる個別の語句は習得しているが、それを既習の知識や概念と関連付け、多面的・多角的に思考し、その結果を説明することに課題がみられた。その原因として説明する際に必要となる社会的な見方・考え方が十分に育っておらず、そのため、よりよい社会を目指す解決策の構想に至らないと考えた。

(3) 指導観

予想や考察の場面を充実させた課題発見・解決学習によって、社会的な見方・考え方を成長させる学習活動を行う。

そのために、まず、予想の場面において、生徒からの「なぜ」という疑問に基づき、単元を貫く課題設定を行う。これにより、探究意欲を高めるだけでなく、課題の発見や解決策を予想する際に既存の社会的な見方・考え方を働かせた思考を促す。これは、どのような視点で、何を調べればよいかなど、今後の学習の見通しをもつことにもつながる。予想時の社会

的な見方・考え方を働かせた思考はシートに記述し可視化させる。次に、考察の場面では、他者との交流などを通して、より多面的・多角的な思考を促し、学んだ知識や概念を関連付けながら、既存の社会的な見方・考え方を修正・発展させる。考察後の思考もシートに記述し可視化させることで、予想時と比較し、自分の思考の深まりを認識させる。

このような、社会的な見方・考え方を徐々に成長させていく課題発見・解決学習の単元構成によって、より多面的・多角的な思考を促し、よりよい社会を目指す解決策を構想できるようにしたい。

5 単元の目標

現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解させるとともに、社会における企業の役割と責任について考えさせる中で、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の本質と関連付けて考えさせる。

6 観点別評価規準

| ア 社会的事象への関心・意欲・態度 | イ 社会的な思考・判断・表現 | ウ 資料活用 の技能 | エ 社会的事象についての知識・理解 |
|---|--|---|---|
| ①企業の生産活動に対する関心が高まっている。 ②今日の経済活動に関する諸問題に着目し企業の経済活動や労働について考えようとしている。 | ①社会における企業の役割と責任について対立と合意、効率と公正等の視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ②社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について対立と合意、効率と公正等の視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 | ①経済に関わる様々な資料を収集し、有用な資料を適切に選択して読み取ったり図表などにまとめたりしている。 | ①人々が求める財やサービスを創り出す生産が、企業を中心に行われていることを理解し、その知識を身に付けている。 ②企業は市場において生産活動以外に社会的に貢献していることを理解しその知識を身に付けている。 ③労働者の権利及び労働者を守るための法律を理解しその知識を身に付けている。 |

7 指導と評価の計画（全7時間）

| 時 | 学習内容 | 評価計画 | | | | | |
|---|--|------|----|----|----|----------|---------------------------------|
| | | 関心 | 思考 | 技能 | 知識 | 評価規準 | 評価方法 |
| 1 | 課題の発見・設定（1h） 生産活動とその仕組み ○「非正規雇用」の実態から課題を発見し、解決策を予想する。【授業①】 | ◎ | | ○ | | ア② ウ① | 発言内容 予想シート 単元シート |
| | 単元の課題：なぜ「非正規雇用」はなくなるのかを踏まえ、「非正規雇用」問題の解決策を提案しよう。 | | | | | | |
| 2 | 情報の収集・整理・分析（4h） 企業の仕組み～パン屋の経営者① ○パン屋の経営者としてシミュレーションしながら企業の目的や役割について理解する。 | ○ | | | ◎ | ア① エ① | 授業プリント 発言内容 行動観察 単元シート |
| | 企業の競争1～パン屋の経営者② ○ライバル店の出現から、企業の競争の影響について考える。 | | ◎ | | ○ | イ① エ② | 授業プリント 発言内容 行動観察 単元シート |
| 4 | 企業の競争2～パン屋の経営者③ ○競争が進むと、企業や私たちにどのような変化や影響があるのか考える。 | | ◎ | ○ | | イ① ウ① | 授業プリント 発言内容 行動観察 単元シート |

| | | | | | | |
|---------------|---|--|---|---|----------------|---------------------------------|
| 5 | 働く意味と労働者を支える仕組み ○労働者の視点から、働く意義や労働者を守る仕組みを理解する。 | | ○ | ◎ | イ② エ③ | 授業プリント 行動観察 発言内容 単元シート |
| まとめ・創造・表現（1h） | | | | | | |
| 6 | 現代の雇用1 ○「非正規雇用」問題の解決策を考察・構想する。 【授業②】 | | ◎ | ○ | イ① イ② ウ① | 考察シート 行動観察 発言内容 単元シート |
| 振り返り（1h） | | | | | | |
| 7 | 現代の雇用2 ○「非正規雇用」問題の解決策の合意形成をはかる中で、企業の在り方や労働について考える。 | | ○ | | イ① イ② | 単元シート 発言内容 |

8 授業の展開

【授業① 第1時／全7時】

（1）授業①の目標

ア②今日の経済活動に関する諸問題に着目し企業の経済活動について考えようとしている。

【関心・意欲・態度】

（2）準備物

学びのつながりシート（予想編，単元編），掲示用資料（正社員と非正規雇用の賃金の差を示した資料），予想用資料（①非正規雇用労働者の不満，②企業の経営者が非正規雇用にする理由）

（3）学習の展開

| | ●教授活動（発問等） ★本時のメインクエスト ○学習活動（予想される生徒の発言） ◎課題を発見した問い | 指導上の留意点 | 評価規準＜評価方法＞ ◇既習の知識・概念 ◆社会的な見方・考え方 |
|-----------|--|---|--|
| 導入 13分 | <p>●同じ会社で働くAさんとBさんが月の給料が10万円も違う。なぜ？</p> <p>○年齢や性別が違う，残業した，専門的な仕事をしている，資格がある。</p> <p>●年齢も性別も同じ，同じ時間，同じ内容の仕事をしているが10万円違う。なぜだろう。</p> <p>○近くの人と相談する。（30秒） 役職，アルバイト・パート。</p> <p>●Aさんは正社員，Bさんは非正規雇用労働者。「非正規雇用」の働き方はどのようなものか，その実態が分かるVTRを見てみよう。</p> <p>○VTR（5分）を視聴する。</p> <p>●あなたが非正規雇用労働者だったらどうだろうか？</p> <p>○嫌だ。不公平。</p> <p>●でも今，非正規雇用労働者の数は増えている。</p> <p>○不公平なのになぜ？ 企業にとっては安く働いてくれる方がいいのでは？</p> <p>◎なぜ不公平なはずの「非正規雇用」はなくなるのか？</p> <p>★あなたは「非正規雇用」を続けるべきか，やめるべきかどちらだと考えるか？労働者，企業の経営者がともに納得できる解決策を提案しよう。</p> | <p>・掲示用資料により賃金の違いを示す。</p> <p>・非正規雇用労働者の実態（正社員との賃金や待遇の格差など）を確認する。</p> <p>・課題を発見する。</p> | <p>ア②＜発言内容＞</p> <p>◇平等 「人はみな等しく差別されない。」</p> <p>◆公正（公平である） 「同じ時間同じように労働をしたら同じ賃金を支払うべきだ。」</p> <p>◆効率（無駄を省く） 「企業は安い賃金で雇う方が利益が多い。」</p> |

| | | | |
|------------|---|--|--|
| | <p>単元の課題：なぜ「非正規雇用」はなくなるのかを踏まえ「非正規雇用」問題の解決策を提案しよう。</p> | | |
| | <p>めあて：「非正規雇用」を続けるべきか、やめるべきか、労働者、企業の経営者ともに納得できる解決策を提案しよう。</p> | | |
| 展開① 7分 | <p>●非正規雇用問題の解決策を出す上でもっと調べる必要があることは何かあげてみよう。(4分)</p> <p>○なぜ企業は非正規雇用をするのか、なぜ非正規雇用はなくなるのか、企業のメリットは何か、正社員と非正規雇用労働者との差(賃金・待遇・労働時間など)非正規労働者の割合、非正規雇用労働者から正社員になれるのか。</p> | <p>・解決策を考える上で、どんな情報や知識が必要であるのか見通しを立てさせる。</p> | <p>◆対立 「何が対立点になっているのか。」</p> <p>◆合意 「折り合いをつけるために必要な情報は何か。」</p> |
| 展開② 20分 | <p>●予想用資料を参考に、学びのつながりシート予想編に解決策を記入する。(15分)</p> <p>○既習の知識や概念を活用し、効率と公正の視点を働かせて思考する。</p> <p>●近くの人と交流。なるほどと思った意見は色を変えて予想編シートへ記入する。(5分)</p> <p>○自分にはなかった社会的な見方・考え方を働かせた解決策を記入する。</p> | <p>・予想用資料(①・②)を配付する。</p> <p>・感情論にならないよう根拠に基づいて主張させる。</p> <p>・資料の読み取りやシートの記入が難しい生徒に机間指導を行う。</p> | <p>ア② <行動観察・記述内容></p> <p>◆公正(主に労働者の立場で公平である)</p> <p>◇平等 「人はみな等しく差別されないのでやめるべきだ。」</p> <p>◇勤労の権利 「収入を得て安定した生活を送る権利があるはずだからやめるべきだ。」</p> <p>◇労働基本権 「労働基本権を雇い主に主張し、非正規雇用を改善すべきだ。」</p> <p>◆効率(主に企業の立場で無駄を省く)</p> <p>◇利益の最大化 「企業は安く雇う方が利益が多い。」</p> <p>◇少子高齢化 「少子高齢化が進むと労働者が減るので労働力確保のため非正規雇用は続けるべきだ。」</p> |
| まとめ 10分 | <p>●「非正規雇用」について廃止派と存続派の人数を確認。両派から数人に理由を発表させる。</p> <p>○存続：働く場がなくなるから。人手不足で少しでも働く人を確保する必要があるから。</p> <p>○廃止：不平等だから。不公平だから。少子化が進んでしまうから。</p> <p>●この単元では「非正規雇用」問題の解決策を、探究していこう。</p> <p>●予想編シートを提出する。</p> | | |

【授業② 第6時／全7時】

(1) 本時の目標

イ①社会における企業の役割と責任について対立と合意、効率と公正等の視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。

イ②社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について対立と合意、効率と公正等の視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。【思考・判断・表現】

ウ①経済に関わる様々な資料を収集し、有用な資料を適切に選択して読み取ったり図表などにまとめたりしている。【技能】

(2) 準備物

学びのつながりシート（考察編）、班の意見シート、
 考察用資料（①日本の年齢別人口推移のグラフ、②正社員と非正規雇用労働者の仕事の満足度、③非正規雇用労働者の賃金の日本と外国との比較、④正社員を希望する非正規雇用労働者の割合、⑤正社員と非正規雇用労働者の制度の違い、⑥ワーク・ライフ・バランスに関する意識調査）

(3) 学習の展開

| | ●教授活動（発問等） ★本時のメインクエスト ○学習活動（予想される生徒の発言） ◎課題を発見した問い | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法> ◇既習の知識・概念 ◆社会的な見方・考え方 |
|----------------|--|---|--|
| 導入 5分 | <p>●あなたが経営するパン屋の非正規雇用労働者から、働く時間は短いけれど、正社員と同じ内容の仕事をしているのだから賃金を上げてほしいと要求された。 <状況> ①向かいのライバル店だけでなく、外国企業の激安パンも登場し、大変厳しい状況である。 ②新たな正社員や非正規雇用労働者も見つかりにくい。</p> <p>◎あなたは、「非正規雇用」を続けるべきか、やめるべきか決断しなければならない。何かよい解決策はないだろうか。</p> <p>●なぜ社員が（正規も非正規も）見つかりにくいのか、グラフから考えよう。 ○生産年齢人口が減っているから。 ●では、みんな正社員にすればよいのではないだろうか。 ○企業の利益がなくなるからできない。</p> <p>◎「非正規雇用問題」の争点は何か。どうすれば労働者や企業の経営者が納得する解決策になるだろうか。 ★これまで企業や労働について学習してきたことを踏まえて、考察し「非正規雇用問題」の解決策を提案しよう。</p> | <p>・考察用資料（①～⑥）を配付する。</p> <p>・非正規雇用問題の本質に迫りながら解決策を導き出せるようにする。</p> | <p>◇競争 「企業は価格や品質などで他店と競争している。」</p> <p>◇少子高齢化 「少子高齢化が進むと生産年齢人口が減ると労働力の確保が難しくなる。」</p> <p>◇企業の仕組み 「人件費は大きな支出になっている。」</p> <p>◆対立 「何が対立点になっているのか。」</p> <p>◆合意 「どう折り合いをつければよいか。」</p> |
| | <p>めあて：「非正規雇用」を続けるべきか、やめるべきか、労働者、企業の経営者ともに納得できる解決策を提案しよう。</p> | | |
| 展開 ① 15分 | <p>●予想用資料と考察用資料、これまでの学習から、「非正規雇用」問題をどうすれば解決できるのか、その策を学びのつながりシート考察編に記入しよう。 ○学びのつながりシート考察編に自分の解決策を記入する。（15分）</p> | <p>・個人で考えにくい生徒に机間指導を行う。</p> <p>・資料から情報を読み取るヒントを伝える。</p> <p>・読み取った情報を基に労働者、企業の経営者の立場から考え</p> | <p>イ①、イ②、 <考察編シートの記述内容><発言内容></p> <p>ウ① <考察編シートの記述内容></p> |

| | | | |
|--------------------|--|--|---|
| <p>展開② 13分</p> | <p>●班で意見を交流し、ベストな解決策を1つ考えよう。 ○班で交流しながらなるほどと思った理由や反論、意見をメモする。(8分) ○班で考えた解決策を紙に記入し、黒板に掲示。(5分)</p> <p>解決策の例) _____(効率) _____(公正) _____(具体策) ○私は続けるべきだと思います。 なぜなら、<u>企業は競争していて、利潤がなかったら倒産や失業者がでてしまうからです。今働く人が少ないので、非正規雇用で働ける人も確保していかなければなりません。非正規雇用を続けると、不公平という意見もあるけれど、同じ時間、同じ内容の仕事をしたら同じだけの賃金を支払うよう給料を成果主義にします。また、国も補助金などを出せばよいと思います。</u> ○私はやめるべきだと思います。 なぜなら、<u>同じように働いたのに賃金が低いのは不公平だからです。働ける人が減っているなら、みんな正社員として働けるようにすべきです。人件費が足りないという意見もあるけれど、仕事の質や量で賃金を決めるようにすれば不公平もなくなり、正社員の給料を見直すことができ、非正規社員の給料にまわせると思います。また、技能がないのに正社員にできないという意見もあるけれど、技能の訓練や資格をとるための研修を企業だけでなく国も行い、正社員への道も保障すればよいと思います。</u></p> | <p>させ整理させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 交流中のメモは、自分にはない視点や考え方を記入させる。 効率・公正の両視点を働かせて思考するだけでなく、各視点で様々な立場から思考することで、広範囲の事象を説明できるものにそれぞれの視点を修正・発展させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆効率(無駄を省く) <ul style="list-style-type: none"> 「企業は競争しているから人件費の削減は止むを得ない。」 「労働者に仕事の質や量で賃金を支払えば企業としても無駄な出費が減る。(A)」 「労働者の中に非正規雇用で時間的なゆとりを求める人もいる。(B)」 「国や企業は今後労働力を確保するためには必要な働き方だ。(B)」 ◆公正(公平である) <ul style="list-style-type: none"> 「労働者には同じ時間、同じ労働をしたなら同一賃金を支払うべきだ。(A')」 「非正規雇用労働者にも研修や正社員への道を保障する。」 「多様な働き方により勤労の権利は守られるべきだ。(B')」 |
| <p>展開③ 10分</p> | <p>●各班の発表 ○各班の意見のポイントをメモしながら聞く。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 各班の意見を存続派と廃止派に分けて掲示する。 発表前に授業者が効率の部分に赤、公正の部分に青、解決策に緑の下線を引く。 | |
| <p>まとめ 7分</p> | <p>●各班の意見を聞いて、何か気づくことはないだろうか。 ○続けると言った班もやめると言った班も同じように仕事をしたら同じだけ賃金を払うことや、賃金を成果主義にするという点で解決策が似ている。 ○どちらにしても国が関わる必要がある点が似ている。 ●次回は各班で出た意見を基に、クラス全体の合意形成を図り解決策をまとめる。 ●今日の授業で出た他の班の意見を参考に、自分としての解決策をさらに検討して、単元編シートに最終解決策を記入するよう指示する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 右上段の効率の視点を働かせた働かせた考え(A)と(B)は、公正の視点を働かせた考え(A')と(B')は違う視点から思考したものではあるが考えが似ていることに気付かせる。このような解決策が、複数の立場の人が合意できるよりよい解決策であることに気付かせる。 | |